



**持続可能な地域の公共交通計画、来年秋をメドに策定へ  
さなか、大和団地～山下駅～平野「補助バス」大幅減便と値上げ案提示**

一方的で拙速な市の姿勢、課題解決に役立つか  
10月から初乗り220円、山下→平野間8割減便案

「前向きに取り組む」

伝わっているか、外出控え

るおり、住民参加で先進的な取り組みをしている大和地区的事例は、もつと評価され

川西市地域公共交通会議（第3回）が3月22日、市役所7階大会議室で開催され、私（黒田）を含む多数の方が傍聴し推移を見守りました。来年秋をメドに全市的な持続可能な公共交通計画の策定を目的にした会議ですが、市は、大和団地内→平野の補助路線バスの運行案A、Bのうち、「A案でいく」と提示。大幅な減便と値上げ案を示しました。地域公共交通をまもるため、地域住民と市と事業者の3者が協同で知恵を出し合う必要があるとき、市の一方的で拙速な計画は課題解決に役立つのでしょうか。

牧の台「ミ ユニティの南野繁 A案は一面裏の表の通りです  
夫会長は、「14日に地域で話し合い が、この情報は地域住民に伝わっているのでしょうか。住民の意見が行われており前向きに取り組む」との弁。東谷の熊手輝秀会長は「東谷地域は駅から歩いて行けているのでしょうか。住民の意見は反映されているのでしょうか。  
る地域。地域の中・「ミ ユニティ 大和地域巡回コースは、平日は現行の38便のままでですが、土日で考えなければならない。西畠野は21便から12便に半減。山下く自治会長は『ゼロになつたら困る 平野間は、平日31便が6便に、  
がある程度の減便是仕方がない』 土休日は16便が4便に激減しま  
二つとも話しまへ。電車は0時から0時まで直通

תְּבִ�ָה

山下～平野間)」について、市から

提案が行われました。

会議前に決定済み

げされます。

医療の確保、幼稚園や学校の廃園校の問題

地域公共交通会議は、持続可能な地域交通ネットワークの構築を目的に開催され、4月から市民や交通市は、事業者の厳しい経営状況、経費削減、市民の利用促進、行政のサポートを再検討した結果、第2

事業者のニーズ調査を実施し、来年9月ころをめどに「交通計画素案」を決定する予定です。回地域公共交通検討会議で提案された「A案」でいくと説明。市の補助金(收支差額補填)の上限は現

会議ではJR西日本、阪急バス・電鉄、能勢電鉄など事業者から、口口ナ禍での厳しい経営状況が報告されました。

に見直す。地域バランスやルール、評価基準など仕組みを決めていく。実施は10月から、としました。

日野泰雄会長からは、改めて我が国の今を語る機会を頂いた

と公費負担の大きいヨーロッパとの違いやエネルギーコストの高騰・事業者の採算悪化の中で、命を守る仕事としての公共交通の問題を考える必要があり、「意見を頂きたい」と挨拶がありました。

市の提案に、緑台・陽明コミニティ協議会の高垣久夫会長は「グリーンハイツにすれば 81 % の減便数」であり平等といえるか。西畠野・清流台など平等性を重んじてほしい。補助の上限 2100 万円とす

便削減、値上げ、補助額増額提示

ついで、今後取り組む市のアンケート調査や事業者の聞き取りに関する問い合わせも含めて何度か訴えられましたが、本案で了承。

A案は1面裏の表の通りですが、この情報は地域住民に伝わっているのでしょうか。住民の意見は反映されているのでしょうか。

大和地域巡回コースは、平日は平野間は、平日31便が6便になります。土休日は16便が4便に激減します。運賃は160円から220円に値上げされます。

会議前に決定済み

(黒田)は、対象地域から、意見が出ると思っていましたが、会議の予定時間が余るほど驚いたのは、配布資料

案運行を基本合意」等々記されており、スケジュールもまでは市の補助金が約1500万円から2100万円。運賃更(160円→220円)も本会議議など、10月にスタートで段取りが悉々と記載されています。

これら、地域公共交通についてアンケートをおこない、集れ様々な形の住民参加が必

の意見を聴くと言ひながら、市はこれから丁寧に説明すると言ふのに、会議が開催される前にされており前向きに取り組まれている。やつぱり、市は

長は、「14日に地域で話合いわれておらず、地域住民に伝わった」との弁。東谷の熊手輝秀会長は『ゼロになつたら困る程度の減便是仕方がない』つては「ゼロになら困る」と話しました。

木谷地域は駅から歩いて行け域。地域の中・コミュニティえなければならない。西畠野会長は『ゼロになつたら困る程度の減便是仕方がない』つては「ゼロになら困る」と話しました。

などがあり、「北部が捨てられている」と怒りや憤りの声が上がっています。私は諦めたくありません。住宅団地として成り立っているこの町が、これから世代交代をしているこの町が、いかなければならないのですから。誰もが住んでよかつた、住み続けることができる川西市にするために、知恵と力を合わせましょう。

バス乗客へのほかさノット 下結果				
アンケート	180円	200円	220円	250円
利用する	82.5%	74.9%	52.5%	38.8%
利用しない	1.7%	6.7%	17.2%	24.5%
わからない	5.5%	10.8%	19.5%	25.7%
不明・無回答	10.2%	7.6%	10.8%	11.1%

アンケートはがき調査（川西市交通政策課）

12月5日(日) 利用者人数 261人

12月7日(火) 833人

問;大和地域内にお住まいの方にお聞きします。現在大和地域内のバスは初乗り運賃が160円となっています。運賃が以下の金額になった場合、バスを利用すると思いますか？